防災行政について

鷲見宗重　議員

問 **同報無線について、6月議会で検討中との答弁でしたが、その後、どう検討されたか現状を聞かせてください。**

答 個別受信機を含め、来年度予算で設置できるように検討しています。

問 **災害弱者の救助体制について、高浜市においても啓発活動と合わせてホームページを活用したらいかがでしょうか。**

答 ホームページの掲載については、考えはない。

問 **海抜を記載した防災マップの進行状況をお聞かせください。**

答 電柱に海抜を示すものをつけて対応します。

教育行政について

問 **教室の扇風機について、日本共産党は前々から要望をしていたもので、早期の設置をすることが必要。**

答 本年度12月補正で予算計上し、設置は来年6月に間に合うようにします。

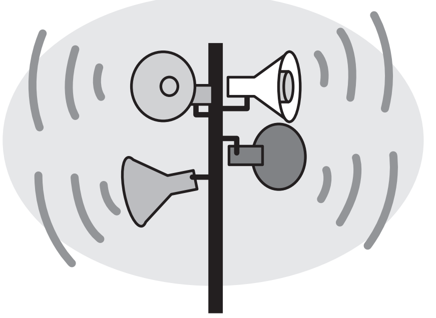
問 **通学路の安全確保について、私から見ても、道路標示が消えている箇所が多いようにみえます。計画を立てて整備する必要があると考えますがいかがでしょうか。**

答 教育委員会から要望があった箇所、地区から要望のあった箇所、職員が確認した箇所を整備しており、年3～4回程度発注しています。

地域振興について

問 **ボートピア（競艇の場外舟券売り場）について、市長は同意を求められた場合、どう対応するのかお聞きします。**

答 現時点では情報がなく、答えられません。



ライフラインの耐震化について

柴田耕一　議員

問 **高浜市の水道、下水道施設の地震対策の現状と計画は。**

答 水道施設の内、高浜配水場、吉浜配水場の配水池及び管理棟の耐震化は完了している。配水池容量は、施設指針に示されている一日最大給水量の12時間分より多い、約16時間分確保されている。配水管は、耐震化率8・09%と低いため、道路工事や下水道工事に併せ、耐震化に努めている。下水道施設は、阪神淡路大震災、新潟中越地震後の、耐震、液状化対策指針に基づき設計施工しているが、今後、津波対策を含めた見直しがあれば対応していく。

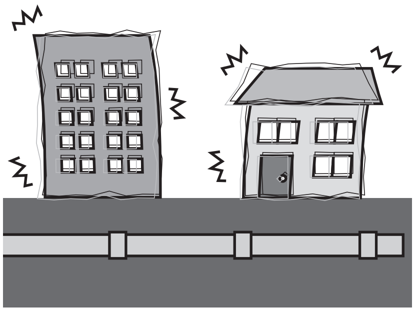
教育施設の整備について

問 **学校施設は、児童、生徒の安全確保と共に災害時の地域住民の避難場所としても重要な施設である。耐震化は済んでいるとはいえ、翼小学校を除く、6小中学校は老朽化が進んでいる。施設の耐用年数及び建て替え計画の考えは。**

答 6小中学校の施設については、耐用年数（建築後60年）を順次迎えることから、学識経験者、市民、保育士、幼稚園・小中学校の教諭等をメンバーとした委員会を組織し、建て替え時期及び具体的な計画について、「公共施設のあり方検討プロジェクト」と歩調を併せ、整備計画の策定に取り組んでいく。

問 **延命措置の修繕、改修等についての考え方は。**

答 校舎の修繕や老朽設備の更新については、常に児童、生徒の安全を最優先に考え、進めている。しかしながら、建て替えに至るまでの延命措置という観点に立てば、大規模改修等については、計画的に進めていく必要がある。



請願・陳情

9月定例会に請願2件、陳情5件が提出され、総務建設委員会、福祉文教委員会に振り分けて、付託、審査され、本会議で採決されました。

【請願第3号】国民健康保険税の引き下げを求める請願

【反　対】 保険制度を維持するためには応分の負担が必要。一般会計からの安易な繰り入れは国保以外の健康保険加入者にとって二重の負担となるため反対

【賛　成】 200万くらいの給与で所得が150万円くらいでも20万円を超える方も見えます。誰でも安心して医療が受けられるということを願って出された請願ですので賛成。

【請願第4号】子育て支援の充実を求める請願

【反　対】 個人の負担に帰するもので受益者負担の原則を踏まえ公費負担はすべきではないと考え反対。

【賛　成】 憲法26条によって義務教育はこれを保障すると規定しており、給食も教育